

自立と共生

第168号

令和8年10月8日(木)

学校と家庭の架け橋 ～SSW研修会～

9月7日(月)、会津地区・南会津地区のスクールソーシャルワーカー(以下SSW)と市町村教育委員会担当者を対象に第2回会津・南会津域内合同連絡会(地区別研修会)を行いました。

研修会では、「SSワールドカフェ」と題し、ワールドカフェ形式で協議をしました。



本日のメニュー

『学校の当たり前』と
『家庭のリアル』の間で、
私たちができること

テーマを共有

左のようなテーマを設定しました。

サブタイトルに

～学校のルール(遅刻・欠席の連絡、宿題など)と困難を抱えた家庭の現実(親の精神疾患、貧困など)のギャップをどう埋めるか～

←研修会で使用したスライドの一部



研修中の様子



お茶とお菓子で
リラックス♡



自由に移動して
意見を交流



他の班はどんな話合い
をしていたのかな?

研修者の感想

SSWの方たちが、日々悩みながら仕事をされていることを改めてお聞きして、ありがたい気持ちでいっぱいです。

学校と家庭、思いや考えが交わらないそれぞれを理解することが大切。

共感と理解、その中で何が必要なのかを互いに考えたい。

互いの「当たり前」がズレていることは当然のことなので、それを少しずつ小さくしていく努力をする。

【本研修より】

SSWは、学校・保護者にとって、心強く温かい味方です。子供たちを真ん中に据えて、よりよい関係づくりを。学校においては、管理職を中心に、さらなる連携をお願いいたします。

